本市における防災体制の向上について

流政会　大塚　洋一

問 **11月1日号「広報ながれやま」に掲載された「地域災害対策に必要な備品の整備として、自治会が宝くじ社会貢献広報事業の浄水装置の助成を受けた」事例に関し、自主防災機能が充実していることと自治会加入率が高いことをどのように評価するか。**

答 **市民生活部長**　今回助成決定を受けた自主防災組織については、事業計画や実施内容等が総合的に評価されたと考えており、市として大変頼もしく思っています。自治会の加入率は、市全体としては把握していますが、自治会ごとの加入率を把握することはできません。しかし、自治会活動の中でも防災意識が高まっていることは事実であり、防災をはじめ活動が盛んな自治会は、加入率の向上につながるものと考えています。また、自治会における防災活動の充実は、地域の防災力向上に欠かせないものであり、自治会懇談会や防災講話、ホームページ等で特色ある活動について紹介していきます。

大雨によるアンダーパスの安全対策について

流政会　青野　直

問 **本市南部地域には、アンダーパス道路が3カ所（南流山駅前ガード下、馬場下ガード下、木地区TXガード下）存在している。短時間に大量の雨をもたらすゲリラ豪雨に対して、自動車が安全に通行できる対策について問う。**

答 **土木部長**　南流山駅前ガード下は、電光掲示板や排水ポンプが設置されています。アンダーパス部に設置されている排水ポンプは、常時機能できるように月に1回の点検と年に1基のペースで分解整備を実施しています。また、電光掲示板や排水ポンプのない馬場下ガード下や木地区のTXガード下については、冠水注意などのわかりやすい注意喚起看板の設置や、冠水部にカラー舗装をし、冠水時にはカラー舗装がドライバーから視認できなくなることでドライバーが冠水を認識し、進入抑制につながるような路面標示などの対策を検討しています。このような冠水防止対策については、他市の対策事例も調査し、警察とともに協議を進め、実施を目指したいと考えています。

平成30年度 予算編成方針について

自由民主党　中川　弘

問 **予算編成方針において、平成29年度と比較して異なっている点は何か。また、直近の決算・予算審査において議会が示した全体合意の指摘要望事項についてどのように取り組むのか。下期実施計画とは異ならざるを得ない事業は何か。**

答 **市長**　平成30年度の予算編成方針については、喫緊の課題である小中学校や学童保育施設などの整備に言及し、本市の都市構造変化や財政状況を十分認識した上で、予算編成に臨むよう指示したところです。議会全体合意事項については、平成30年度予算編成において適切に対応するよう全部局に指示しており、予算措置を伴うものは、現在査定を行っているところです。下期実施計画において位置づけされていませんが、児童数の増加に対応するため、大畔地区に新たに小学校を建設する新設小学校建設事業をはじめ、八木北小学校校舎等建設事業、民設学童クラブ運営委託事業などがあり、子育て、教育環境の充実を図るため必要と考えています。

新設小学校に行きたくなる教育プログラム導入を！

流政会　近藤　美保

問 **新設小学校建設予定地は、自然が豊かな環境です。子ども達が新設小学校に行きたくなるように、北欧で実績があるフォレストスクールのような、森の中で自然と関わりながら、日常の中で環境を学ぶような魅力的なプログラムを公募してはどうか。**

答 **教育長**　新設小学校の建設予定地は、流山の自然が残る緑豊かな地域です。特色あるプログラムの一例として、自然体験活動や地元農家の協力による農業体験などが現時点では考えられます。

　現段階としては、プログラムを公募することは考えていませんが、ご指摘のとおり新しい学校に行きたくなるような特色あるプログラムをつくるため、通学する児童や保護者のさまざまな意見を取り入れ、併せて地域の方々のご協力を得ながら、地域に合った特色ある教育活動を推進していける方策を探っていきたいと考えています。

流山本町のさらなる活性化について

公明党　野村　誠

問 **「白みりんと切り絵行灯の夕べ」などに見られるにぎわい創出事業は交流人口の増加が図られている。さらなる活性化のために流山駅前通りや、千葉銀行流山支店に程近い引き込み線跡地を新たな観光資源として整備すべきと考えるがどうか。**

答 **経済振興部長**　流山駅前通りは、地域の方々が主体となって実施しているイベント、白みりんと切り絵行灯の夕べでは会場として活用している道路となっています。引き込み線跡地は、歴史的なストーリー性と昔のままの緩やかなカーブの軌道が残っており、十分な幅員と交通量の少なさから整備することで新たな観光資源としての活用が期待できます。しかし、流山本町と利根運河の他にも誘客ポイントが多数あり、特に道路などの整備については多額の事業費が必要であることから、財源確保も視野に入れながら優先順位を検討しなければならないと考えています。

　次期総合計画の中での位置づけを含め、調査研究を進めていきたいと考えています。

引き込み線跡地

貧困の連鎖防止へ施策拡充を

日本共産党　徳増　記代子

問 **貧困の連鎖を防止するため①無料塾など学習支援の場を確保すべきだがどうか。②保育料の減免制度の周知をすべきだがどうか。③就学援助制度については、小学校入学準備金の早期支給やクラブ活動費などの対象を拡大すべきだがどうか。**

答 **健康福祉部長**　現在、平成30年度に向けて制度内容の見直しを進めており、任意事業の一つである子どもの学習支援事業を活用し、無料塾に相当する事業として検討しています。

子ども家庭部長　保育料の支払猶予、免除制度について、入所決定時および保育料の決定時に個別に通知しているほか、入所案内、市ホームページなどで周知をしています。

学校教育部長　小学校入学前の新入学学用品費の支給については、平成31年度小学校入学者を対象に入学前の平成31年3月までに支給できるよう準備を進めています。対象費目の拡充は、現在のところ考えていませんが、近隣市の状況などを踏まえ今後の課題として研究します。

払える国保料にすべきでは

日本共産党　植田　和子

問 **県が公表した試算では流山市の国保料は上がると見てとれるが、国保料は上がるのか。マイナンバーの記入拒否があっても書類は受け付けるのか。国保料の支払いが困難な人に減免制度を紹介しているか。市民から聞かないと教えないのか。**

答 **市民生活部長**　千葉県が公表した標準保険料の試算結果は途中経過であり、現在も調整が進められ、平成30年1月に確定結果が示される予定です。市の保険料については今後の予算編成の中で検討しますが、財政支援制度の活用、保険料の収納対策、医療費の適正化などを講じて、被保険者の負担が増えないよう努力します。

　マイナンバーの記載がない申請書は、そのまま受け取っています。

　減免制度は、広報、ホームページなどでお知らせするとともに、保険証の発送時に「よくわかる国保ハンドブック」、保険料の決定通知で減免制度を紹介させていただいています。被保険者全世帯に配布しています。窓口では丁寧な対応、相談をさせていただいています。

母子保健・小児救急の充実が必要です

日本共産党　乾　紳一郎

問 **①母子保健を担う保健師数は県内他市と比べ少ないが、増員が必要ではありませんか。②小児救急病院は専門医確保や赤字穴埋めで大変。民間任せでは持続可能な小児救急は実現できません。財政支援を強化すべきではありませんか。**

答 **健康福祉部長**　平成30年度に向け、人員要望として、人事担当部局に要望はしています。その結果が反映されるよう、市長、副市長とも協議を